

医薬品包装技術支援センターの業務内容

1. 業務内容

カテゴリー		支援可能項目(例)
法的規制	表示・識別を含む	薬機法、日本薬局方、GXP、バリデーション、クオリフィケーションなど
包装形態・容器 (個装～梱包)	包装技法 情報伝達	防湿包装、遮光包装、緩衝包装、多重包装、環境調整包装など 画像認識、バーコード、RFIDなど
製造	機械及び機械適性 =>※1	形状、寸法、質量、成形性、ヒートシール性、熱間シール性、滑性、帯電性、粘着性、接着性、弾性、ブロッキング性、熱収縮性、カール性、輸送保管性、形状保持性、折目保持性など
	新技術 (合理化)	IoTなど 連続化など
製品	品質性 =>※2	規格適合性、品質恒常性など
	使用性	開封性、取出性、分割性、スクイズ性、携帯性、誤用防止性、改ざん防止性、読解・情報伝達性、印刷適性、誤読防止性、バリアフリー性など
	クレーム及び改善要望	クレーム・失敗などへの対処 技術的検討への協力、医療機関・流通業者のニーズ把握など
再生医療	温度管理	耐冷凍性、耐温度変化性、トレーサビリティなど
流通	保管・輸送	GDP適合性、偽造防止性、温度マッピング、破損防止など
	流通システム	外部委託、冷凍保存容器、卸及び医療機関のニーズ・動向調査
SDGs (環境)	廃棄処理性	燃焼性、有害ガス発生性、自然崩壊性、減量化など
	材質適性	脱プラスチック化、モノマテリアル化など
共通化		標準化など
共同開発		機械・材料・医薬品メーカー間の協力
技術サービス	文献・資料	必要に応じて国会図書館などの利用
	データ解析	実験計画法、多変量解析法、ワイブル解析法、階層分析法など
その他	関連事項	

※1. 機械及び機械適性

物理的事項	寸法、形状、質量、寸法安定性、引張強度・引張伸び、耐圧縮性、破裂強度、硬度、永久変形性、引裂強度、衝撃強度、耐折強度、摩耗強度、耐ピンホール性、緩衝特性、環境応力亀裂発生性、耐熱性、耐寒性、再密封性、断熱性、遮光性、防虫性、防微生物性、耐γ線性、耐電子線性、水蒸気透過性、ガス透過性、透水性、香気・臭気透過性、印刷適性など
化学的事項	溶出性、耐水性、耐光性、耐薬品性、耐溶剤性、耐油性、耐酸性、耐アルカリ性、耐候性・耐劣化性、製剤との相互作用、無毒性など

※2. 品質性

品質性	光沢、透視性、白色性、平滑性、形状、サイズ、重量、印刷適性、購買訴求性など
-----	---------------------------------------

2. 詳細

詳細については、下記にお問い合わせください。

㈱イーズ
創包工学会

info@easejp.com
gsp14754@nifty.com

医薬品包装は次のように極めて複雑です。
問題に応じてフレキシブルに対応します。

包装内容物	固形剤・注射剤・半固形剤・特殊製剤他
基本的材料	プラスチック・ゴム・ガラス・金属・紙他
業務内容	デザイン・表示・識別・品質保持・試験法・ 材料物性・包装機械・安定性・製造ライン・ IoT・連続化・バリデーション・使用法・ 流通・保管・廃棄処理性・SDGs他

以上